

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

32001 「北辰中学校」

札幌市立北辰中学校

1 本年度の重点目標

◎生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」学校づくり

2 本年度の経営方針

① 「人間尊重」の教育の推進

② 不登校生徒に対する取組の組織的対応のための体制の構築

③ ICTを活用した教育の推進

④ 家庭や地域とともにある学校づくりの推進

⑤ 働き方改革の継続

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

自己評価結果 (A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」)		自己評価		学校関係者評価	
評価項目	達成状況	自己評価及び改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
先生や学校の姿勢について	生徒や保護者からの信頼を得ており、保護者からの協力も得られやすい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事情を抱える生徒も含め、日々の声掛けや見守り、保護者への細やかな対応などから高い評価につながっていると考える。 生徒が、落ち着いて授業を受けることができる環境が整っている。 上記を今後も継続し、さらに信頼を高められるよう努める。 	A	A
	学習環境をしっかりと整え、生徒が安心して通学できる学校になっている。	A			
学校関係者評価者による意見	年々、生徒との信頼が高まっているのは特筆すべきことである。卒業しても志高く学び続ける生徒が多く、先生方の指導の方向性について信頼をしている。学習のみならず、社会的な関心事にも通じるよう、指導をお願いしたい。				
授業や学習指導について	生徒の学ぶ意欲を高める、「分かる、楽しい授業」を行うため、工夫や改善を行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 期待される平均値は超えているが、今年度は「わからない」の回答が例年に比べて多かった。ICTや学校だよりを活用して、情報を発信していく。 「個別最適な学び」と「協働的な学び」をバランスよく取り入れた授業づくりを進め、生徒の学ぶ意欲をさらに高められるよう努める。 学習評価について、今後も教職員の共通理解を図れるよう継続的に研修を行う。 	A	A
	教材研究や工夫、改善を行い、生徒に基礎・基本をしっかりと理解させている。	A			
	学習指導要領に沿った評価基準で評価を行っている。	A			
学校関係者評価者による意見	保護者アンケートでは「わからない」との回答が多く見られるが、家庭内での会話が少なくなる時期でもあるということが関係していると思われる。子どもの回答結果を見ると、大変高い結果ではあるので、子ども自身は納得しているのではないかと。ICTの活用等で発信力を高めてほしい。				
生活や生徒指導について	学校や社会のルールやマナーを生徒にしっかりと教えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活を通じて、社会性を育み、より規範意識を高める指導を今後も行っていく。 生徒理解に努め、個別最適な支援を行えるよう、教師間の連携を密にし、豊かな心の育成に努める。 	A	A
学校関係者評価者による意見	ルールやマナーに関しては、家庭の影響を多く受ける場所であるので、社会通念上大事なことを学校教育の中で指導してほしい。ICTの活用能力に家庭差が感じられる。ICTは便利な面もあるが、思考が足りない状況で送信してしまうなど問題点もあるので、学校でも注意していくことが大事である。				

道徳や特別活動、総合的な学習について	道徳の授業を中心に、自分や他人を大切に する気持ちを育てている。	A	・道徳の授業のみならず、考えたり、 議論したりする活動を中心に、自分や 他人を大切にすることを育ててい る。	A	A
	学校生活や行事等で集団生活の大切さや 生きる力、他人を思いやる気持ちを育てて いる。	A	・行事を通じ、生徒一人一人の自主 性、社会性、協調性を高めることがで きた。行事のみならず、教育活動を通 して、思いやりの精神を育てていく。 ・総合的な学習の時間では、内容をさ らに工夫し、生徒が学ぶ楽しさを感じ ることのできる学習を展開していく。		
	総合的な学習の時間では、生徒に探究的 に学ぶ楽しさを感じさせている。	A			
学校関係者評 価者による意見	この部分に関しては、学習指導よりも保護者に伝わりにくいのが、道徳ローテーションなどで多様な価値観に触れているのは良いことである。授業公開日に道徳を公開してみるのもどうか。また、発表会等での生徒の発信力の高さについては、パートナー校からの積み上げも大きいと思われる。今後も継続して小中で連携してほしい。				
全体的に	北辰中学校は、子どもの「通いたい学 校」、保護者にとって「通わせたい学校」と なっている。	A	・学校評価アンケートの結果からも高 い評価が得られている。今後も「通い たい・通わせたい学校」であり続けら れるよう努める。	A	A
学校関係者評 価者による意見	北辰中学校は、様々な活動に対して、保護者の参加が多く、保護者の力を借りられているのは大変良いのではないかと。何をもち「通いたい」「通わせたい」と思うのかは、生徒及び保護者個々によって異なるので、今後も声を聞きながら学校運営をしていただきたい。				
教職員向け項 目	特別な支援の必要な生徒に対し、個に応 じた適切な指導や支援を行っている。	A	・個々の生徒の実情や能力、特性に合 わせ、ふさわしい個別指導計画の立案 と実施、校内体制の整備および関係機 関と協力した支援を行っている。	A	A
	新しい時代にふさわしい研修活動を行っ ている。	A	・研修活動では、研修部を中心に教科 を超えたグループでテーマに沿って交 流した。今後もさらに時代に合った研 修を進めていく。		
	個人情報の扱いや適正な経理など、确实 で効率的な事務処理を行っている。	A	・個人情報の扱いについては、取扱い に関する規定に則り、適切に処理する よう今後も周知徹底する。		
学校関係者評 価者による意見	北辰中学校としても個人情報の扱いについて、細心の注意を払っていただきたい。小中一貫教育については、先駆的な取組をしているので、今後も継続してほしい。				

○次年度の具体的な方向性として

・今後も本校の学校教育活動について、保護者や地域の方々にも理解していただけるよう分かりやすく発信する。また、引き続き「通いたい・通わせたい学校」を目指した学校教育活動を実践する。

・全職員で全生徒を見守り、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに努め、生徒・保護者からより一層の信頼が得られる関係を構築する。

・これまでの学びを社会に生きて働く本物の経験として発揮できるように、「直接体験の場」や「自己決定の場」「失敗から学べる場」などを創出し、多様な学びの場を提供する。

・生徒一人一人の学習の様子が保護者にも分かりやすく伝わるよう、情報提供に努める。

・北辰中学校らしい行事を大切にしながらも、教科授業時数を確保できるよう、精選すべきところは精選し、より充実した教育課程の編成を目指す。

・多様な生徒の実情や能力、特性に対応するため、学年や関係組織、そして全校の協力体制により学びを支援する校内体制を維持する。

・校内外における効果的な研究・研修により、教師の資質能力の向上を目指す。

・子どもの声を反映した運動機会の充実を図る環境整備推進事業推進校として、パートナー校と情報共有しながら、生徒の健やかな体の育成に資する体制を整える。

・北辰中学校で勤務する教職員が、安心して働ける場となるよう、適切なカリキュラムマネジメントを行っていく。

★その他、委員の方からのご意見

昔に比べて、生徒の落ち着きや行儀の良さが感じられる。
授業時数が多く厳しい中ではあるが、行事など楽しみもあってよいのではないかと。
先生方には本当に感謝をしている。先生方の心身のためにも、働き方改革については、今後も継続して取り組んでほしい。